

第9回 中小企業景況調査結果

平成18年7月調査

鎌倉商工会議所

1. 調査目的 この調査は、鎌倉市内の中小企業の景況を調査、その動向を分析して鎌倉市内の事業所の経営に役立つ資料を提供することを目的とする。

2. 調査対象 鎌倉市内の中小企業特に小規模企業（製造業・建設業・最寄品小売業・買回品小売業・飲食業・サービス業）の中から150企業を抽出する。

	製造業	建設業	小売業		飲食業	サービス業	合計
			最寄品	買回品			
調査件数	15	15	23	30	37	30	150
回答数	14	13	20	23	29	24	123
回答率	93.3%	86.7%	87.0%	76.7%	78.4%	80.0%	82.0%

3. 調査方法 郵送によるアンケート方式(一部経営指導員による聞き取り)

4. 調査項目

(1) DIの状況について

自社の状況 売上額 資金繰り 採算 従業員数

(2) 設備投資について

(3) 経営上の問題点について

5. 調査期間 平成18年7月1日～平成18年7月31日(7月1日現在で記入)

平成18年4月1日～平成18年6月30日

調査時点は四半期毎に実施。(7月・10月・1月・4月)

6. 調査データについて

(1) DI指数：Diffusion Index(デフュージョンインデックス・景気動向指数)の略。

各調査項目について、「増加」・「好転」したなどとする企業割合から「減少」・「悪化」したなどとする企業割合を差引いた数値で、企業の景況感の判断に使用する指数。

(2) データ「本年と前年の数値を対比」

<計算例>

「やや増加」・「やや好転」50% 「変わらず」20% 「やや悪化」・「やや減少」30%の場合。

DI = 50% - 30% = 20%

7. 経営状況DI推移

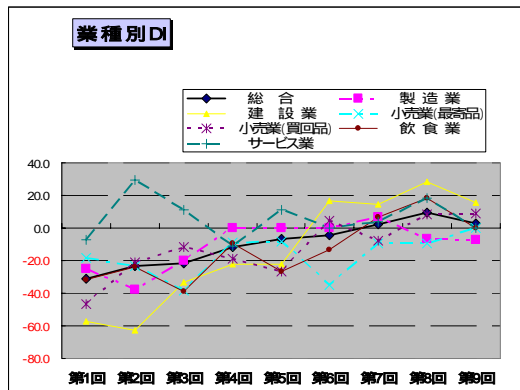
	経営状況	良い	普通	悪い	DI
第1回	平成16年7月調査	11(14.9%)	30(40.5%)	33(44.6%)	31.0
第2回	平成16年10月調査	18(20.9%)	35(40.7%)	33(38.4%)	23.1
第3回	平成17年1月調査	14(15.6%)	43(47.8%)	33(36.7%)	21.9
第4回	平成17年4月調査	16(18.8%)	43(50.6%)	26(30.6%)	11.8
第5回	平成17年7月調査	18(21.2%)	45(52.9%)	22(25.9%)	6.9
第6回	平成17年10月調査	30(23.0%)	61(47.3%)	38(29.5%)	4.6
第7回	平成18年1月調査	34(25.8%)	66(50.0%)	32(24.2%)	1.6
第8回	平成18年4月調査	43(33.6%)	55(43.0%)	30(23.4%)	10.2
第9回	平成18年7月調査	36(29.3%)	54(43.9%)	33(26.8%)	2.5
	3ヵ月後の見通し	22(17.9%)	69(56.1%)	32(26.0%)	8.1

2 業種別 (改善したのは2小売業のみ)

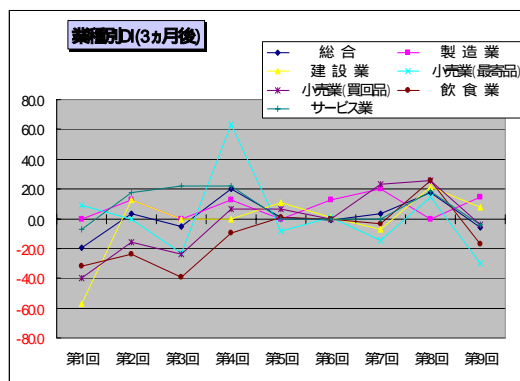
製造業、2期連続悪化、建設業は6期振りに悪化。最寄品小売業が3期連続改善先行きは不安

業種別DIは、総合判断DIのプラス2.8。改善したのは、最寄品小売業(9.5ポイント)、買回品小売業(0.4ポイント)の2業種。悪化した業種は製造業(マイナス7.1、0.4ポイント)と建設業(プラス15.4、13.2ポイント)飲食業、サービス業の4業種である。製造業の主要3指標が2期連続悪化。建設業は悪化した4期連続のプラスで**景気回復の牽引役**。最寄品小売業は始めて水面に浮上0.0。先行き7月の天候不順で悪化見通し。買回品小売業は、**個人需要の回復で2期連続改善**し、プラス8.7。飲食業は、3期ぶりに悪化回復の期待抱くが、先行きも悪化懸念。サービス業は緩やかに後退先行き不安。

3ヵ月後の業種別業況見込みDIは、製造業はプラス14.3改善、建設業は7.7ポイント悪化し、最寄品小売業は30.0ポイント悪化、買回品小売業もマイナス4.3と13.0ポイントの悪化を見通し。飲食業で17.2ポイントの悪化、サービス業は4.2ポイント悪化の見通し。



業種別	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回
総合	-31.0	-23.1	-21.9	-11.8	-6.9	-4.6	2.4	9.6	2.8
製造業	-25.0	-37.5	-20.0	0.0	0.0	0.0	6.7	-6.7	-7.1
建設業	-57.1	-62.5	-33.3	-22.2	-22.2	16.7	14.3	28.6	15.4
小売業(最寄品)	-18.2	-23.1	-38.5	-9.1	-8.3	-35.0	-9.5	-9.5	0.0
小売業(買回品)	-46.7	-21.1	-11.8	-18.8	-26.7	4.2	-7.7	8.3	8.7
飲食業	-31.6	-23.8	-39.1	-9.5	-26.7	-13.3	6.7	18.5	0.0
サービス業	-7.1	29.4	11.1	-11.1	11.1	0.0	3.8	18.5	0.0



業種別	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回
総合	-19.4	3.7	-5.5	20.0	0.8	-0.8	3.1	17.5	-5.6
製造業	0.0	12.5	0.0	12.5	0.0	12.5	20.0	0.0	14.3
建設業	-57.1	12.5	0.0	0.0	11.1	1.0	-7.1	21.4	7.7
小売業(最寄品)	9.1	0.0	-23.1	63.6	-8.3	1.0	-14.3	14.3	-30.0
小売業(買回品)	-40.0	-15.8	-23.5	6.3	6.7	0.0	23.1	25.5	-4.3
飲食業	-31.6	-23.8	-39.1	-9.5	1.0	0.0	-3.3	25.9	-17.2
サービス業	-7.1	17.6	22.2	22.2	0.0	0.0	0.0	18.5	-4.2

3 経営上の問題点

企業が抱える経営上の問題点は「**需要の停滞**」と「**利用者ニーズの変化**」

「**需要の停滞**」が32.5%(40社)の企業が「**利用者ニーズの変化**」を26.8%(33社)の企業、「**販売単価の低下・上昇難**」が22.8%

(28社)の企業が、「**人件費以外の経費の増加**」が16.3%(20社)の企業、「**新規**

参入業者の増加」8.9%(11社)「**人件費の増加**」7.3%(9社)の企業が回答している。

総合(下別調査数)		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回
		74社	86社	90社	85社	85社	129社	132社	128社	123社
経営上の問題点	需要の停滞	40	34	36	32	37	48	44	44	40
	利用者ニーズの変化	25	26	21	26	28	31	24	23	33
	販売単価の低下・上昇	20	18	17	14	16	23	19	20	28
	人件費以外の経費の増加	8	7	12	12	14	23	15	18	20
	新規参入業者の増加	7	7	11	9	12	10	10	14	11
	同業者の進出	7				10			7	5
	人件費の増加	6	8	6	8	7	13	11	16	9
	大型・中型店の進出		8	6			9	8	8	9
	購買力の世帯或への				8				8	8
	その他							1	3	6

